

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブルーミング・コフレ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年 1月10日		～ 令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個人の特性に応じた支援を行えるよう心掛けている	・利用者と接することにより、できそうなことを行ってみる。 ・支援の際、拒否されたり、難しい場合、そのときは無理に行おうとはせず、見守りながらできそうなことやタイミングを見てスモールステップで支援を行っている。	・ご本人が「行いたい」と思える活動を選べる支援を取り入れていく。(写真等を使い、この中から行いたい活動を選んでもらうなど)
2	事業所内だけではなく、状況によって法人にある空きスペース、グラウンド近くにある地域の公園等を活用することができる。	・そのときの児童の状況によって、屋外で気分転換を行ったり、少しでも落ち着けられる環境に移動してもらうことができる。	・引き続き、児童たちが落ち着ける環境や場所を見つけていき、少しでも穏やかに過ごしていただけるように心がける。
3	児童発達支援を利用後、放課後等デイサービス→法人内の成人の福祉サービスにつなげていくことができ、顔見知りの職員・利用者ができる。	放課後等デイサービスの児童や、法人内の職員と活動を行ったり、顔見知りになったりすることにより、これから先も〇〇さん！と声をかけてもらえたり、何かあったとき助けてもらえることができる。	・引き続き、放課後等デイサービスの児童や法人の職員・また地域の方々にも出会える機会を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に対し、事業所の活動内容を伝えられていない。	口頭で伝えているのみで、希望される保護者には送迎時に写真を送る等しか伝えられていない部分があり、全ての保護者に活動内容が伝えられていない。	・広報等発進するツールを見直し、事業所の活動内容を伝えていく。
2	保護者に対し、事業計画、安全計画等の配布ができていない	年度ごとの事業計画、安全計画、各種マニュアルを作成しているが、が保護者に配布できていないため、保護者にも伝えられていない	・年度初めに保護者会等を実施し、保護者に事業計画・安全計画・各種マニュアル等配布し、説明等を行っていく。
3	バリアフリー面で玄関の段差が解消できていない。	階段の段差の解消ができていない。	・段差が解消できそうな設備等を検討していく。